

# 天井耐震診断業務内容について

## 1. 天井耐震診断業務内容とは

天井耐震診断業務内容とは吊り天井下地材の耐震診断および天井の検討例のご提案です。  
(耐震天井の設計は行いません。設計事務所のご紹介は可能ですのでご相談ください。)

## 2. 報告書

### (1) 判断基準

JACCA 天井耐震診断チェックリストに沿って、天井下地材の状況を診断（有料）します。

#### ① 「公共建築工事標準仕様書 平成 25 年版 ※1」との適合性

天井下地の耐震性を診断する前に天井下地として標準的な仕様との適合性を診断。

※1 国交省大臣官房官庁営繕部監修

#### ② 「国土交通省平成 25 年告示第 771 号等」との適合性

国土交通省平成 25 年告示第 771 号等（平成 25 年 8 月 5 日）との適合性を診断。

#### ③ 「文部科学省学校施設における天井等落下防止対策のための手引」との適合性

学校施設における天井等落下防止対策のための手引（平成 25 年 8 月 7 日）との適合性を診断。

#### ④ 「JACCA 耐震天井仕様※2」との適合性

JACCA が規定する耐震天井の仕様に沿って、天井下地の耐震性を診断。

※2 国土交通省新技術基準（平成 25 年告示等）に、JACCA 独自の実験・研究より得られた知見を加えた耐震天井の考え方、及び具体的な JACCA 認定耐震天井工法の仕様との適合性

### (2) 診断項目（12 項目 40 箇所）

- 1 吊り元（インサート）等
- 2 吊りボルト
- 3 野縁受け
- 4 野縁
- 5 開口部の補強
- 6 天井仕上げ材
- 7 ブレース
- 8 クリアランス（壁・設備・段差部等）
- 9 外部天井等の補強
- 10 プール・温泉の天井
- 11 落下防止措置
- 12 変形・外れ・錆及び漏水跡等の状況

## 3. 耐震対策の検討例（設計ではありません）

一般的な提案となります。

具体的な耐震天井の設計につきましては設計事務所へご依頼下さい。

## 4. 診断を行うための建築構造条件

- ① 天井下地材が建築用鋼製下地材であること
- ② 建物構造が S 造、RC 造、SRC 造のいずれか若しくは混合したものであること

## 5. JACCA 天井耐震診断士

天井耐震診断業務は当組合の JACCA 天井耐震診断士が対応いたします。

当組合が行う天井耐震診断認定講習会を受講し、天井耐震診断認定証を取得した方に限ります。

※天井耐震診断士は、国家資格を有する者です。

(対象資格：一級建築士、二級建築士、1 級建築施工管理技士、2 級建築施工管理技士、技術士)

## 6. 見積

依頼主からご提出頂いた天井耐震診断見積依頼書の内容を確認し、天井耐震診断価格表を基に作成いたします。

### 見積の留意事項

- ・ 足場等の仮設費用及び点検口設置費用は含みません。

JACCA 天井耐震診断は診断用の足場が組まれた状態での天井耐震診断が基本です。

※足場の高さについては、診断士の胸部より上が天井内に出る高さが必要となります。

上記仮設状況により診断当日に実施が一部不可となる場合があります。

- ・ 診断の依頼を取消す場合はキャンセル料を請求させていただきます。金額はキャンセル料一覧（価格表）をご覧ください。

- ・ JACCA 天井耐震診断価格表記載以外の条件につきましては、別途費用と致します。

- ・ アスベスト等の発散の可能性がある場合は、対応のために別途割増料金を頂戴します。

日本耐震天井施工協同組合